

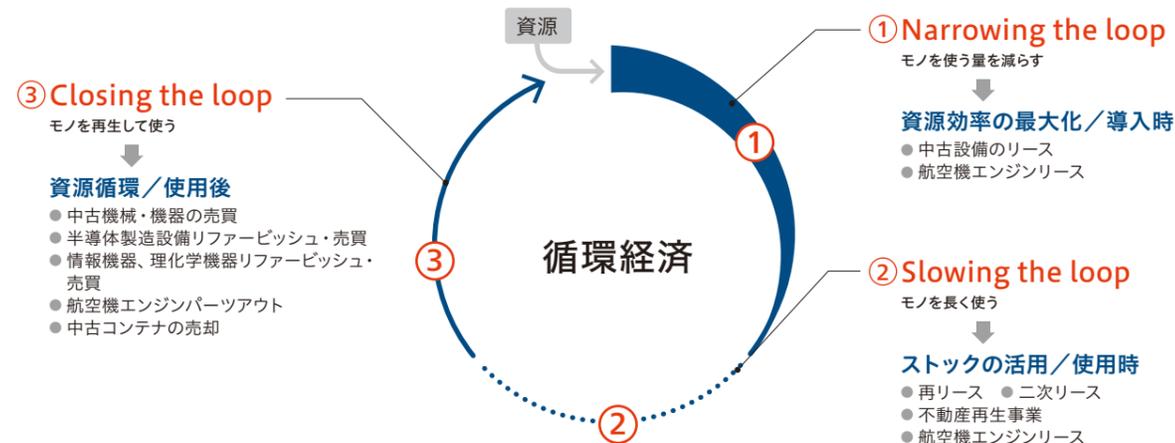
サーキュラーエコノミーの実現

当社グループは、“サーキュラーエコノミーの実現”をマテリアリティ(重要課題)として掲げ、経営理念である“アセットの潜在力を最大限に引き出し社会価値を創出する”ための具体的なアプローチの1つとして取り組んでいます。

三菱HCキャピタルにおけるサーキュラーエコノミー

当社グループでは、さまざまなビジネスによりサーキュラーエコノミー(循環経済)の実現に貢献しています。祖業であるリースはそのビジネスモデルの特性上、サーキュラーエコノミーと親和性が高く、当社グループは契約の対象となる設備・機器の“価値を最大化”するさまざまな提供価値・ソリューションを有しています。当社グループのサーキュラーエコノミー関連ビジネスは、以下図表のとおり、

循環経済実現のための各要素と関連しています。本ページでは代表的な事例を取り上げていますが、掲載されているもの以外にも多くの領域において、サーキュラーエコノミーに関連するビジネスに取り組んでいます。社会的な関心も一層高まっており、今後も提供機能を拡充し、お客さまやパートナーとともにサーキュラーエコノミーの実現に向け取り組んでいきます。



〈参考文献〉 田崎 智宏 サークュラーエコノミーの実現に向けた転換と情報発信 (2024) アド・スタディーズVol.87 2024
Bocken, N. M. P., De Pauw, I., Bakker, C., van Der Grinten, B. (2016) Product design and business model strategies for a circular economy. Journal of Industrial and Production Engineering, 33 (5) : 308-320.

三菱HCキャピタルグループのサーキュラーエコノミー関連ビジネスにおける強み

サーキュラーエコノミー関連ビジネスでは、当社グループの強みである“お客さま・パートナーとのネットワーク”、“アセットや各業界に対する専門的知見・取り組み実績”に加え、IoTやデータ利活用などデジタル技術を活用することで、提供価値の向上につながっています。

サーキュラーエコノミー関連ビジネスを行う当社組織・グループ会社の代表的事例は右表のとおりです。

サーキュラーエコノミー関連ビジネスを行う代表的な三菱HCキャピタル組織(グループ会社含む)

ユニット・本部	部署名/グループ会社名	サーキュラーエコノミー関連ビジネス
カスタマーソリューションユニット	エレクトロニクス営業部 U-MACHINE エム・キャスト MHC環境ソリューションズ	半導体製造設備リファーマビッシュ・売買 産業・工作機械の売買 医療機器の売買 情報機器・理化学機器のリファーマビッシュ・リユース・リサイクル
航空事業本部	Engine Lease Finance INAV	航空機エンジンリース 航空機エンジンパーツアウト
不動産事業本部	三菱HCキャピタルリアルティ	不動産再生事業
ロジスティクス事業本部	CAI International	海上コンテナリース

モノのライフサイクルステージにおける当社グループの提供価値・ソリューション

当社グループは、「モノを導入する」ところから「モノの使用を終了する」に至るまでの各ライフサイクルステージにおいてソリューションを提供しており、2023年度も多くの実績をあげました。

導入時

お客さまが設備を導入する場面においては、脱炭素化・省エネルギー化を促進する設備や、航空機体の稼働率向上に資するエンジン提供など、お客さまのニーズを満たす適切なモノを提供する機能や、お客さまが使用したいというニーズ(≠所有)を実現するためのオペレーティングリースやシェアリング、レンタルといった幅広いファイナンス機能を提供しています。

関連ビジネス ESGリース促進事業、GX Assessment Lease、航空機エンジンリース、中古設備・機器リース など



航空機エンジン

使用時

リース契約においては、リース契約期間満了の際に、「再リース契約(通常1年ごとの延長契約)」「返却」の選択肢を提供し、「再リース契約」を選択の場合には当初契約期間と比べ低廉な費用で1年ごとの延長使用を可能にしています。また、残価設定型のリースでは、残価を元本としたリース(二次リース)の組み直しに対応しています。

ストックの活用を促す取り組みとして、不動産再生事業においては築古オフィスなどを取得し、設備更新や共有部のリニューアル工事など不動産の価値を再生する事業を行っています。また、航空機エンジンリース事業では、適時適切な整備・保守を通じて資産価値を維持・向上させ、長期使用を可能としています。

関連ビジネス 再リース(参考:カスタマーソリューションユニットの2023年度実績:480億円) 航空機エンジンリース、不動産再生事業 など



リニューアル実施後のオフィスビル

使用后

資源循環の領域では、さまざまなモノを対象にビジネスを展開しています。リース契約期間満了の際に「返却」が選択された場合には、返却物件について新たなお客さまでの二次利活用などへつなげます。当社グループの専門性やネットワークといった強みを生かし、お客さまから返却された設備・機器はもちろん、お客さまの遊休資産・設備を買い取り、ほかのお客さまへリースするほか、リファーマビッシュ・リユースビジネスに複数の領域で取り組んでいます。例えば、海上コンテナリース事業におけるリース満了後のコンテナは陸上で据え置き型倉庫などに利用されています。

また、設備・機器としてリユースすることが困難な航空機エンジンや情報機器などについても、解体・整備し補用品として使用価値のある部品に関してパーツアウト事業を展開するなど、リユースやリサイクルの可能性を追求します。最終的にリユース・リサイクルが難しいものは適正に廃棄を行うことで、サーキュラーエコノミーの実現に貢献しています。



リファーマビッシュ中の半導体製造設備



中古パソコンのデータ消去作業

資源循環／使用后に関連する実績(2023年度)

中古機械・機器の売却額

150億円

カスタマーソリューションユニットの産業工作機械、半導体製造設備、理化学機器、建設機械、医療機器、情報機器を対象とした中古機械・機器の売却合計額

PCリファーマビッシュ・売却台数

47万台超

リース満了返却物件やお客さまの遊休資産を買い取り、データ消去をはじめとした適切なリファーマビッシュを行い、リユースビジネスを展開